

## 令和4年度 学校運営について

### 【経営の方針】

#### 楽しく学び合い、高め合う、みんなの笑顔があふれる学校

一人一人の子どもが様々な集団の中で、自分の考えを発表したり、友達の考えを知ったり、考え方や思いを互いにやり取りし、そのよさや違いを認め合うことで、一人一人の学びがさらに充実していく。このような学び合いの中で学ぶことの楽しさや喜びを感じ、お互いが高め合う、みんなの笑顔があふれる学校をめざしていきたい。

子どもにとって…通いたい学校でありたい 保護者にとって…通わせたい学校でありたい  
地域にとって…応援したい学校でありたい 教職員にとって…働きたい学校でありたい

### 【基本方針】

- (1) 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、教育目標及び教育課題を地域、家庭と共に有し、課題解決と教育目標の実現に向けた教育実践を進める。
- (2) 学習指導要領の主旨に基づき「主体的・対話的で深い学び」のある授業へと改善を進める。
- (3) 児童の自主的・実践的な活動の充実により、所属感と満足感を得られる学校生活の構築に努める。
- (4) インクルーシブ教育システム構築に向け、特別支援教育体制の拡充と基礎的環境整備、合理的配慮の充実、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりに努める。
- (5) 保護者との信頼関係を構築し、保護者が児童を安心して通わせられる学校づくりを進める。

### 【「四中クインテット」目指す15歳の姿】

- ・進んで学習に取り組み、夢や目標の実現に向けて努力する人
- ・礼節と思いやりの心をもち、よき人間関係を築く人  
(思いやりの心をもって仲間づくりができる人)
- ・命を大切にし、めあてを持って心身をきたえる人

#### 【中学校のみ】

- ・貢献に誇りと喜びを感じる人

### 【学校教育目標】

#### 夢に向かって未来に羽ばたく 朝陽のように明るく元気な子

- よく考え進んで学ぶ子 ○友達を思いやり協力する子 ○健康でたくましい子

令和2年度制定

### 【努力目標】

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を習得・活用し、自ら学び、考え、表現する子どもの育成に努める。
- (2) 思いやや命を大切にする心を育み、共に生きる心豊かな子どもの育成に努める。
- (3) 進んで運動に親しみ、健康に対する关心や意識をもつ、健康でたくましい子どもの育成に努める。

## 【学校教育目標達成に向けた努力事項】

- (1) よくわかる、できる、楽しい授業への授業改善
- ・学習の見通しをもたせ、授業のねらいを明確にし、学び合いを大切にした授業を展開する。
  - ・ICTの活用、教材や板書を工夫し、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりを進める。
  - ・教科等横断型指導のため、年間指導計画（カリキュラム・マネジメント）の工夫を進める。
- (2) 自主的・自動的な活動を推し進める中で豊かな心を育てていく
- ・どの子にも居場所のある学級、学年、学校づくりを進める。
  - ・学級活動の継続的指導の充実に努める。
  - ・特別支援教育体制の充実と教育環境の整備に努める。
  - ・特別の教科 道徳を要としながら、全教育活動の中で思いやりの心、他者と共生し、よりよく生きようとする道徳性を養う。
- (3) 体力づくりと健康・安全教育の充実に努める。
- ・体力づくりへの日常的な取組に向けた実践を計画的に進める。
  - ・食育の実践的研究を継続しながら、運動や睡眠の必要性など、健康教養を身に付けさせていく。
  - ・校内外で安全な生活を送るための安全教育の充実に努める。

## 【めざす教師像】

- あ** 愛情と情熱をもって子どもに接し、使命感と誇りをもつ教師（教職に対する強い情熱）  
**さ** 更に自分の力量を高めていこうとする教師（専門家としての確かな力量）  
**ひ** 広い見識と豊かな人間性を持ち、心身ともに明るく健康な教師（総合的な人間力）

### 希望の碑

雀の子 飛ばんとしては 飛ばんとす

明治19年本校卒業の佐藤紅緑先生はかつて「少年俱楽部」誌上に熱血小説「ああ玉杯に花うけて」「少年贊歌」等を連載し、全国の少年達の血をわかし胸おどらせ、夢と希望を与えました。また、子規門下の俳人としても数多くの名句を残しています。この大先輩の金言を、わが朝陽小学校の子供達が、朝に夕に口ずさみ、大きな夢をもって元気よく社会へ飛び立ち、母校をほまれとして、生涯世の中に役立つ人間となるよう、私共父母の願いをこめて建設するものであります。

昭和55年3月吉日

これは、まだ幼い雀の子が、大空に飛び立とうとする姿を詠んだものです。まだ幼い雀の子は、初めて飛ぼうと懸命に羽を打ちます。しかし、まだ力の弱い羽では、すぐ下に落ちてしまいます。でも、雀の子は飛ぶことをあきらめません。下に落ちては、絶対飛ぼうと挑戦するのです。そして、少しづつ羽ばたけるようになっていきます。やがて、たくさんの失敗の後、雀の子はついに広い空に飛び立つのです。

これは、朝陽小学校に学ぶ子供たちの姿です。輝かしい未来という希望に向かって、失敗を繰り返しながら、その失敗に一つ一つ学びながら、努力を続けていく人間の姿です。

創立130周年記念誌 第33代校長 工藤浩司先生の挨拶文より